

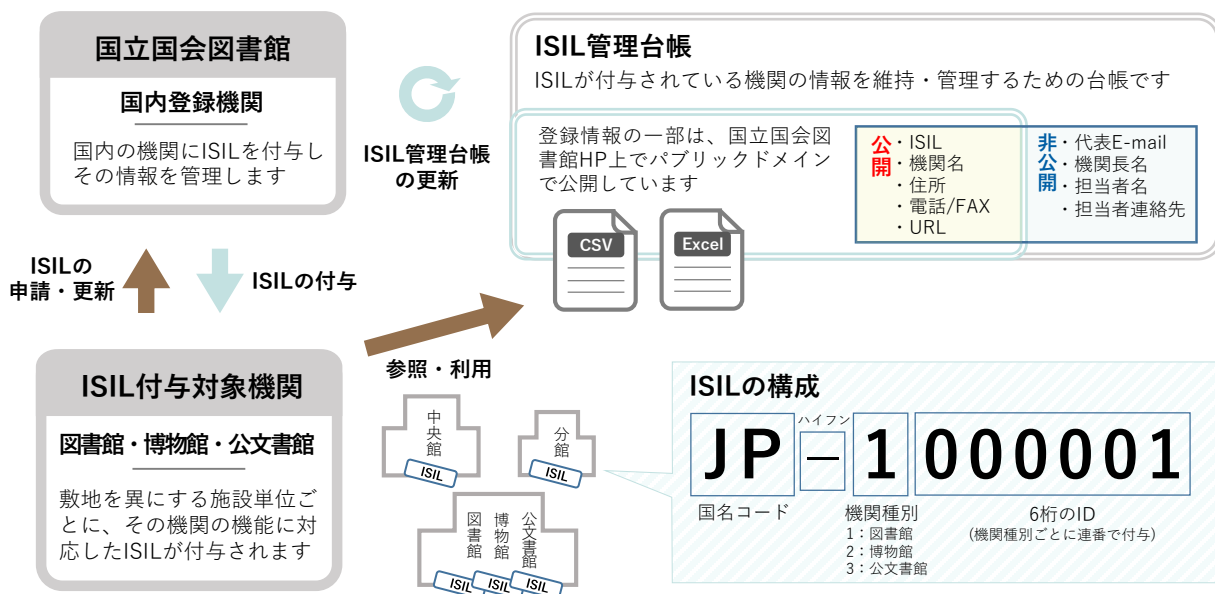
2022年10月から博物館・公文書館へのISIL付与を開始します

ISILとは？

- 図書館と、博物館や文書館等の関連組織に付与される国際的な識別子です。
- 資料やデータの流通・管理等に活用されることが期待されています。
- 国際規格ISO 15511として発行され、世界30か国以上で採用されています。

ISILの付与と管理

日本国内では、2011年から国立国会図書館がISILの付与・管理を行っています。



ISILの活用例

国内の関連組織を一意に同定することができる機関情報データが整備されることで、調査研究や資料管理など、様々な場面でISILを活用できます。

国内機関データの共有

日本国内にある図書館・博物館・公文書館を一覧できるデータベースとして、対象機関に関する調査等への活用が期待されます



資料の個体識別への活用

ISILを組み込んだIDを資料に付与することで、機関を越えて資料が一意に識別できるようになり、機関間の資料貸借等における資料管理に活用できます

<https://www.ndl.go.jp/jp/library/isil/index.html>

ISILについての情報は、国立国会図書館ホームページでもご覧いただけます。